

Information_4

各地で花も咲き、春本番ですね。この季節は特に花粉に悩んでいる方もいるかと思いますが、動物たちと一緒に元気に乗り越えていきましょう。今回は、小さくても家族の一員「ハムスター」についてのお話です。

一言にハムスターと言っても、ジャンガリアン、ゴールデン、キャンベル、ロボロフスキーなど種類は様々です。ここではハムスターの元祖とされている『ゴールデンハムスター』の生態と特徴についてあげます。ぜひ環境づくりの参考にしてみてください。

すみかについて

原産国：中東・西アジアのシリア、イスラエル、レバノン方面。

気 候：四季で差が大きく夏は高温乾燥、冬は雪がよく降る寒い地帯。

生 活：寒暖の影響を受けない地下に巣穴を作り生活していました。また、いつでもエサが手に入る環境ではなかったため、巣穴にエサを貯めこんでいました。

⇒現在までこの習性は受け継がれています。お部屋を作る場合はエサが隠せて、体全体が潜れる深さまで床材を敷き詰めてあげてください。

生活について

- ・ゴールデンハムスターは特に縄張り意識が強い。
- ・単独生活をしていた。

⇒これらのことを考えると集団生活には向かないので、準備したお部屋が大きくても多頭飼いはおすすめできません。飼うときはできる限り単頭飼いにしてあげてください。

日常生活で予防できる病気

ハムスターも病気やケガをします。目、皮膚、できもの（腫瘍）など病気は予測できるものではありません。しかし環境作りに気を付ける事で防げる病気もあります。ここではその病気をふたつご紹介します。

☆頬袋脱

頬袋に入れたものを出すときに頬袋が一緒に出てきてしまう病気です。すぐに戻さなければ、頬袋が壊死してしまうこともあります。

予防方法

この病気はパン・ティッシュ、ご飯粒などベタベタするものが粘膜に付着することで起きます。普段からそういったものを口に含ませないよう生活環境に注意を払いましょう。

☆細菌性皮膚炎

金網によるケガやケージ内の不衛生な環境による細菌感染です。悪化すると皮膚内に膿がたまることもあります。

予防方法

定期的にお部屋の掃除を行ない、床材とトイレの清潔さを保つことが大切です。また定期的に体を触り、異常やケガがないか確認できると安心です。

今回は『ゴールデンハムスター』についての情報をあげましたが、種類によってその習性にあった生活環境、個体の性格にはそれぞれ違いがあります。お互いにストレスを感じない生活を送るためにも、事前に飼いたい種類の性格を知り、どんな生活環境を作ってあげればいいのかを調べてみるといいかもしれません。